

日本英文学会第97回大会プログラム

時：2025年5月31日（土）・6月1日（日）

所：東京大学 本郷キャンパス

（〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部）

※使用教室については変更の可能性があります。変更が生じた場合は、学会ウェブサイトおよび会場にて訂正のご案内をいたします。

第1日目 5月31日（土）

（受付は正午より法文1号館（正門側）1階エントランスにて。受付では年会費の納入はできません。）

開会式 午後1時（法文2号館2階1番大教室）

司会 東京大学教授 後 藤 和 彦

☐ 開会の辞

会長 阿 部 公 彦

☐ 挨拶

東京大学大学院人文社会系研究科長・文学部長 村 本 由紀子

☐ 第47回新人賞選考結果・2024年度優秀論文賞報告

編集委員長 前 川 貴 史

研究発表 第1発表 午後1時45分～2時25分

第2発表 午後2時30分～3時10分

第3発表 午後3時20分～4時00分

第4発表 午後4時05分～4時45分

第1室（法文1号館（正門側）2階214教室）

司会 奈良大学教授 古 木 圭 子

1. *Long Day's Journey into Night* におけるメアリーの揺れ動く心情

大阪大学大学院生 永 田 優 衣

2. アレゴリーとしての建物

Shirley Jackson の *The Bird's Nest* にみる幽閉と逃亡

司会 上智大学准教授 田 島 優 子

東京大学大学院生 加 藤 安沙子

3. The Anxiety of an Androgynous "I" in "My Life had stood - a Loaded Gun"

司会 元駒澤大学教授 東 雄一郎

Independent Scholar Du Boli

第2室（法文2号館2階2番大教室）

司会 学習院女子大学教授 佐久間 みかよ

1. "Eve's Diary" における罪の無化

模範・主体としての女性の表象

所属なし 大 木 雛 子

2. ソロー「野生のリンゴ」における寓意性

九州大学名誉教授 高 橋 勤

3. ピェールはアメリカのプラトニストか？

司会 鹿児島大学教授 竹 内 勝 徳

ハーマン・メルヴィル『ピエール』における新プラトン主義の批判的受容とピエールの運命

慶應義塾大学大学院生 篠 碕 優 人

4. 【招待発表】

海洋国家アメリカの Blackface Minstrelsy

『アフリカ巡航者の日誌』と『日本遠征記』を中心に

京都産業大学教授 中 西 佳世子

第3室（法文1号館（正門側）2階212教室）

司会 日本女子大学教授 杉 山 直 子

1. Beyond Stereotypes: Cultural Resistance in *Tripmaster Monkey*

神戸大学大学院生 王 玲 玲

司会 関西学院大学教授 塚 田 幸 光

2. アフェクティブ・シュラップネル

Jonathan Safran Foer, *Extremely Loud & Incredibly Close* (2005) における象徴的情景の表象変容について

東京大学大学院生 ジェイムズ常マシュー

3. 知識に「触れる」

Philip K. Dick の *The Man in the High Castle* における手工業製品と触ること

慶應義塾大学大学院生 岩 本 遼

司会 立教大学教授 新 田 啓 子

4. ありえた生を拒絶する

Anne McCaffrey, *The Ship Who Sang* における障害性と女性性

慶應義塾大学大学院生 松 村 美 里

第4室（法文1号館（正門側）1階113教室）

司会 福井大学講師 廣 川 貴 朗

1. θ / θ -bar 区分と裸複数形の解釈

東北大学大学院生 坂 本 瑞 生

2. 形容詞的受動文の意味分析

東北大学大学院生 清水野 貴 大

司会 北見工業大学教授 戸 澤 隆 広

3. 自由併合と動名詞構文

京都大学准教授 Jason Ginsburg 大阪教育大学教授 寺 田 寛

4. 【招待発表】

コントロールにおける一致現象

東北大学教授 島 越 郎

第5室（法文1号館（正門側）3階314教室）

司会 慶應義塾大学教授 堀 田 隆 一

1. that節を伴う知覚動詞構文に関する通時的考察

日本大学助手 村 岡 宗一郎

2. 動詞内部の out の多義性について

文法化分析の問題点とその解決

静岡県立大学大学院教授 長 野 明 子 筑波大学大学院生・日本学術振興会特別研究員 戸鹿野 友 梨

司会 名古屋市立大学准教授 杉 浦 克 哉

3. 移動動詞に後続する -ing 形式を含む要素の特徴について

長崎大学教授 西 原 俊 明

第6室（法文1号館（正門側）3階312教室）

司会 立正大学准教授 瀧 口 美 佳

1. 高校英語における「対話的な学び」のためのクラス

英詩クリエイティブ・ライティング実践研究

静岡県立静岡商業高等学校教諭 漆 畑 祐 佳

2. 画像生成AIを用いた Picture Description 学習の試み

八戸工業高等専門学校教授 菊 池 秋 夫

司会 東洋大学准教授 久 世 恭 子

3. 「正解」のない読書から自律的読書へ

英語多読実践者のナラティブ探究

鶴見大学教授 深 谷 素 子

4. 【招待発表】

Emily Dickinson の詩を教室で読む

その実践方法と今後の課題

東京理科大学准教授 金 澤 淳 子

シンポジア（午後1時45分～4時45分）

第1部門（法文1号館（安田講堂側）2階25番教室）

翻訳、翻案、捏造の美学

長い18世紀における公共圏の形成

司会・講師	福島大学教授	川 田 潤
講師	一橋大学講師	大久保 友 博
講師	筑紫女学園大学准教授	高 森 暁 子
講師	慶應義塾大学教授	原 田 範 行

第2部門（法文2号館2階1番大教室）

デジタル・ヒューマニティーズの発展可能性

英文学研究における現在地

司会・講師	中央大学教授	橋 本 健 広
講師	大阪大学教授	田 畑 智 司
（言語学的文体論、デジタル・ヒューマニティーズ、著者推定論、Forensic stylistics、テキスト分析論）		
講師	福岡大学講師	船 田 佐央子
講師	東京農業大学教授	鎌 田 明 子

第3部門（法文1号館（安田講堂側）1階21番教室）

推理と小説

シャーロック・ホームズが生まれるまで

司会・講師	同志社大学教授	玉井史絵
講師	英文学者・翻訳家	三馬志伸
講師	関西外国語大学准教授	橋野朋子
講師	和光大学教授	宮崎かすみ

第4部門（法文1号館（安田講堂側）1階22番教室）

アイルランド島の現代詩

新しい天候を告げる詩人たち

司会・講師	明治大学教授	虎岩直子
講師	明治大学教授	辻昌宏
講師	京都府立大学准教授	西谷茉莉子
講師	東京都立大学教授	高岸冬詩

第5部門（法文1号館（安田講堂側）3階26番教室）

知恵と助言の文学

中世後期イングランドとイベリアからの視点

司会・講師	東京大学教授	小林宜子
講師	石川県立看護大学専任講師	工藤義信
講師	日本大学准教授	杉藤久志
講師	慶應義塾大学教授	瀧本佳容子

(中世カスティーリャ文学、文献学)

第6部門（法文1号館（安田講堂側）3階27番教室）

Approaching the Principles of Efficient Computation and Interface Conditions

Views from Movement and Ellipsis

司会・講師	東北大学准教授	中村太一
講師	東洋大学教授	後藤亘
講師	東京大学講師	小田博宗
講師	明海大学講師	辰己雄太
講師	大阪大学教授	宮本陽一
講師	九州大学准教授	前田雅子

特別研究発表 午後1時45分～2時45分（法文1号館（正門側）2階215教室）

Why Henry James is Important

司会	東洋大学教授	北原妙子
講師	クレイトン大学教授	Greg Zacharias

第2日目 6月1日(日)

(受付は午前9時30分より法文1号館(正門側)1階エントランスにて。受付では年会費の納入はできません。)

研究発表 第1発表 午前10時00分～10時40分 第2発表 午前10時45分～11時25分
第3発表 午前11時35分～午後0時15分 第4発表 午後0時20分～1時00分

第7室(法文1号館(正門側)3階314教室)

司会 フェリス女学院大学教授 冨 樫 剛

1. Language, Rules, and Life in George Berkeley and Motoori Norinaga

The Chinese University of Hong Kong, Graduate Student Chim Wung Cheong

2. Alice Thorntonの自伝的語り

病と出産による自己表現

奈良女子大学大学院生 浅 川 さおり

司会 秋田大学准教授 大 西 洋 一

3. フランシス・ゴドウィンの『月の男』における民族誌的語りの位置付け

慶應義塾大学大学院生 穴 本 玲 奈

司会 大阪大学教授 中 村 未 樹

4. 【招待発表】

*The Winter's Tale*における誕生と死のイメージについて

京都大学教授 栗 山 智 成

第8室(法文1号館(正門側)2階215教室)

司会 学習院大学教授 田 辺 千 景

1. 死を生きる

*The Gates Ajar*における死生観とスピリチュアル・マテリアリティ

慶應義塾大学大学院生 大 串 尚 代

2. 【発表なし】

司会 明星大学名誉教授 笠 原 順 路

3. Byron and Shelley's Loco-Descriptive Lyrics

※オンライン発表となる可能性があります。

The Immortal Swiss Alps and the Mortal Italian Hills

東京大学大学院生 木 村 真理子

司会 大妻女子大学准教授 田 代 尚 路

4. 【招待発表】

ロバート・ブラウニングの『ソルデロ』と1830年代イギリス政治について

早稲田大学教授 鈴 木 理恵子

第9室(国際学術総合研究棟1階文学部3番大教室)

司会 白百合女子大学教授 土 井 良 子

1. 「第一印象」は覆される

*Pride and Prejudice*における高慢な地主の未亡人

慶應義塾大学大学院生 三 薺 至 音

-
- 司会 東京大学教授 大 石 和 欣
2. Edward Bulwer-Lytton, *A Strange Story* における超自然をとりまく語り
多摩美術大学助教 井 沼 香保里
3. 『ミドルマーチ』の「フィナーレ」におけるフェアブラザーの「不在」
徳島文理大学教授 中 島 正 太

-
- 司会 大阪大学教授 山 田 雄 三
4. 【招待発表】
非在の在
18世紀英国小説の孤児たちとイシグロ作品における登場〈しない〉人物たち
関西外国語大学教授 服 部 典 之

第10室（法文1号館（正門側）2階214教室）

- 司会 京都府立大学教授 吉 田 朱 美
1. “Pursuit of Culture”
Female Self-Realization and Consumer Culture in George Gissing’s *In the Year of Jubilee*
慶應義塾大学大学院生 Gao Yali
-
- 司会 上智大学教授 小 川 公 代
2. 月、血、そして少女の変化し成長する身体
「月経」から読む George MacDonald 作品の女性像
西南学院大学助教 隈 部 歩
-
- 司会 大阪大学教授 橋 本 順 光
3. Walter Crane の芸術論と Oscar Wilde の *A House of Pomegranates* における装飾
聖心女子大学非常勤講師 迫 田 真 帆
4. 鏡の記憶をめぐって
ハーン、チェンバレン、ジェイムズ夫人の「松山鏡」を例として
東洋大学非常勤講師 川 澄 亜岐子

第11室（法文1号館（安田講堂側）3階27番教室）

- 司会 都留文科大学教授 加 藤 めぐみ
1. 失われた古い家を求めて
カズオ・イシグロ作品における「再訪」の変容
京都大学大学院生 肖 軼 群
-
- 司会 都留文科大学名誉教授 大 平 栄 子
2. 鼻の魔術師サルマン・ラシュディ
『真夜中の子供たち』における生／死を揺らがす嗅覚的情動
一橋大学大学院生 田 口 嵩 人
-
- 司会 九州大学助教 西 あゆみ

3. 尋問のポリフォニー、J.M.クッツェーのバフチン受容とその実践

東京大学大学院生 紺 野 直 伸

司会 金城学院大学教授 田 村 章

4. 【招待発表】

ジョイスとモリーのジブラルタル

大妻女子大学教授 吉 川 信

第12室（法文1号館（正門側）3階315教室）

司会 大東文化大学教授 鈴 木 敬 了

1. prefix + verb から verb + preposition/adverb へ

明治大学客員研究員 小 倉 美知子

司会 明治大学准教授 狩 野 晃 一

2. アラビア語文学のジェフリー・チョーサーへの影響

「修道女付き司祭の話」と『カリーラとディムナ』に見る寓話解釈の比較考察

慶應義塾大学大学院生 東 中 巴 奈

司会 立教大学教授 唐 澤 一 友

3. 【招待発表】

古英語訳『聖グースラーク伝』の原典テキスト

明治大学教授 石 黒 太 郎

シンポジア（午前10時00分～午後1時00分）

第7部門（法文2号館2階1番大教室）※一部オンライン発表（または録画再生）となる予定です。

抵抗するナラティヴ

アメリカ文学における抵抗の所作と語りの可能性

司会・講師 日本大学教授 牧 野 理 英

講師 千葉大学教授 山 本 裕 子

講師 慶應義塾大学教授 有 光 道 生

講師 広島大学准教授 松 永 京 子

第8部門（法文1号館（安田講堂側）1階21番教室）

モダニズムの多面性

司会・講師 明治学院大学名誉教授 富 山 英 俊

講師 東京都立大学名誉教授 渡 部 桃 子

講師 専修大学教授 宮 本 文

講師 明治学院大学教授 古 村 敏 明

第9部門（法文1号館（安田講堂側）1階22番教室）

十九世紀アメリカ文学・文化と中東

司会・講師 慶應義塾大学教授 佐 藤 光 重

講師 長野工業高等専門学校教授 小宮山 真美子

講師	早稲田大学准教授	田ノ口 正 悟
講師	立命館大学准教授	石 川 まりあ

第10部門（法文1号館（安田講堂側）3階26番教室）

文法化研究の新たな展開

認知言語学と生成文法の接点を求めて

司会・講師	日本大学教授	保 坂 道 雄
講師	名城大学教授	久 米 祐 介
講師	愛知学院大学教授	前 田 満
講師	法政大学国際日本学研究所研究員	大 沢 ふよう

第11部門（法文1号館（正門側）1階113教室）※一部オンライン発表（または録画再生）となる予定です。

多様性の時代における「正しさ」の言語学

継承と形成から見る言語の規範と標準

司会・講師	群馬大学准教授	吉 川 正 人
講師	慶應義塾大学大学院生	尾 崎 萌 子
講師	信州大学助教	Ash L. Spreadbury
講師	杉野服飾大学助教	北 澤 茉 奈

第12部門（法文2号館2階2番大教室）※一部オンライン発表（または録画再生）となる予定です。

「英語文学」を教えること

多様性と代表性の間で

司会	立正大学准教授	伊 澤 高 志
講師	文教大学教授	芦田川 祐 子
講師	東京都立大学准教授	生 駒 久 美
講師	大阪公立大学教授	高 橋 愛
講師	実践女子大学教授	土 屋 結 城

ワークショップ 午前10時00分～午後1時00分（法文1号館（正門側）2階212教室）

More Thoughts on Discourse-Pragmatic Markers in the History of English

司会・講師	明治大学教授	柴 崎 礼士郎
講師	ブリティッシュコロンビア大学名誉教授	Laurel J. Brinton
講師	信州大学助教	岩 井 恵利奈

特別講演 午後1時45分～3時45分（法文2号館2階31番教室）

學魔英文学高座

司会	同志社大学教授	圓 月 勝 博
講師	翻訳家・元大妻女子大学副学長	高 山 宏

閉会式 午後3時55分（法文2号館2階31番教室） 司会 関東支部支部長・日本女子大学教授 佐 藤 和 哉
☐ 閉会の辞 東京大学教授 後 藤 和 彦